

もっと 遠い空から

アラフィフで 北京留学 **後編**



白井 隆行 (50期)

●Takayuki Usui
当会国際委員会副会長

(略歴)

2003年5月 米国Duke University
School of Law, LL.M.
2004年9月 ニューヨーク州弁護士登録
2017年2月 香港司法試験
(Overseas Lawyers
Qualification Examination)
合格
2018年9月 中国人民大学法学院留学
現在 リップル法律事務所所属

連載最終回は中国人民大学法学院(「本学院」)での生活編です。

1 大気

北京にいると言うと、大気汚染は大丈夫なのかと必ず聞かれます。私が10年前に来たときは滞在中1週間ずっと大気の状態が悪い日が続いていましたが、冬季の暖房熱源を石炭から天然ガスに切り替えたこともあり、大幅に改善されました。悪くなるのは大体月に数回程度で、悪い状態が2日以上続くことも少なくなりました。ただ冬場になるとどうしても悪い日が増えてきます。PM2.5対応のマスクは北京でも3Mのものが買えますが、好みがあれば日本から持参するのがよいでしょう。

2 トイレ革命

党主導で「トイレ革命」が進行中のこともあり、公共のお手洗いも大きく改善しており、①洋式のトイレが少ない、②紙が個室内にな

い(入口近くにあって適当な長さに切って持って入る)ことを除けば問題ないことがほとんどです。

3 住まい

学内に留学生寮があります。安い部屋(二人部屋)で31元/日、高い部屋で80元/日です。しかし、一杯なことが多いです。中国政府奨学金か孔子学院奨学金の受給者の入居が優先されるためです。

私は早めに申し込んでいたのに、上記奨学生で一杯になり入れませんでした。幸い、知人のご厚意で本学院から地下鉄で1時間ほどのところにアパートを借りられました。しかし、北京の地下鉄が東京以上に激混みなことと、自炊が苦手で食生活が貧困になったために、体調を崩し、2か月で本学院近くへの引っ越しを決意しました。我愛我家という業者に頼んで部屋を探してもらい、1週間ほどで本学院から徒歩5分のきれいにリフォームされたアパートが見つかりました。1年契約で仲介手数料・敷金ともに賃料1か月分です。数か月分の前払いを求められます。賃料はどちらのアパートも6500元/月でした。相場より少し高めかもしれませんが。なお留学生寮には家族用の部屋はないようです。東京に残してきた妻が毎月1度北京まで訪ねて来てくれたので、アパートを借りて正解でした。

4 奨学金

35歳以下の中国留学志望者は中国政府奨学金に応募すべきです。この奨学金では、学生寮に入れ（但し二人部屋）、学費、寮費と総合医療保険料の免除が受けられるだけでなく、月3000元の生活費も支給されますが締切りが早いので注意を要します。2020年度は1月22日までの受付でした。

二弁からの留学者は、早めに本学院に連絡した上で中国政府奨学金に応募してもらえれば、受給できるよう善処します、と本学院から申し出てもらっています。

5 銀行口座

銀行によっては、口座の開設を正式な学生ビザが発行されるまで認めてくれないところがあります（中国銀行など）。私は2018年9月2日に入国して、正式なビザの発行を受けたのが10月9日です。2か月分くらいの生活費は現金で持っておいた方がよいかもしれません。

6 食事

食事は学内にある学食で取るのが一番です。食材が安全ですし、何より安いです。一食10～15円で満腹になります。学内には主な食堂が3つありますが、営業時間が限られているので注意が必要です。私がよく行く西区食堂は朝飯6:45-8:45、昼飯10:45-12:45、晩飯16:45-18:45です。遅れて行くと、たとえご飯が残っていて



学食で北京ダック定食が食べられます。

も「ないよ」と言われます（彼ら職員の賄い飯になるので）。

注意すべきは、主な食堂では料金を学生カードで払うのですが、銀行口座とひも付けられるようになっているため、銀行口座が開けない限り、それらの食堂は使えないということです。主な食堂以外の小さな食堂もいくつかあるので、しばらくはそこで我慢しました。

中国というと食の安全が心配と思われるかもしれませんが、近年では有機野菜の宅配などのサービスも登場し、極端に神経質にならない限りは問題ないように感じます（妻談）。

7 運動

勉強は気力と体力です。ほかの学生の二倍年を食っている私には特に体力の向上維持がカギです。学内には運動場、体育館、プールのほかジムが数か所あります。私は体育館にあるジムにほぼ毎日通ってきました。年会費は1380元です。



体育館内のジム。隣にもう一つ同じ広さの部屋があります。

8 ネット環境

Google、Facebook、Amazonは全て使えません。Twitterも同様です。MicrosoftとApple関連のサービスは問題ないことが多く、今のところは、ニュースはMSNニュースが閲覧可能、メールはOutlook.comなら問題なく送受信できます。いわゆる「ネット検索」がBingやBaiduを通じても貧弱になってしまうのが頭の痛いところですが、いくつか対処方法があるようです。

9 県人会

ときには日本が恋しくなることもあるかもしれません。そんなときは現地にある日本の県人会に参加しましょう。北京にはほぼ全県の県人会があり、加入要件も緩いところが多く、千葉県会会は成田空港を使ったことのある人なら参加できます。48期以降の先生方は全員が埼玉県人会に参加できます。私は修習地熊本、元本籍地の大分、出身地神奈川の県人会に参加してきました。

海外で活躍する日本人同士の交流が盛んなのは北京も例に漏れず、東京ではお知り合いになれなかったような方との知己を得るチャンスも、海外生活の魅力の一つです。

10 都市としての北京の魅力

万里の長城、故宮博物院など世界遺産に恵まれ、博物館・美術館の充実ぶりには目を見張るものがあります。書画骨董を探したり、京劇のみならず欧米等の有名アーティストによる演奏（2019年は池永国際委員会委員長

（当時）のご息子が、団員として所属している「鼓童」の北京公演）に足を運んだり、高速鉄道を使って中国各地に足を延ばしたりすることもできます。中華料理は世界三大料理の一つであり、北京では中国各省の料理も楽しめ、名立たるレストランも多く、食の満喫にうってつけの都市でもあります。

11 結びに代えて

留学はこれまで、一般的に20代、30代の弁護士がするものだったかもしれません。確かにその年代で留学することにはなお大きな意味があると思います。しかし、これからはアラフォー、アラフィフの弁護士が留学したってよいのではないのでしょうか。人生100年時代、そして国際化時代、人生の後半は自分がチャレンジしたかった国や地域のロースクールに留学して、その法律の実務に軸足を移して行ければ、それこそ本望というものです。私もそうしたくて北京に飛び出してきました。その目論見が成功するかは、なお未知数です。それでも、我がアラフィフに悔いなし。 ■



TOPPAN



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

凸版印刷は、東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

凸版印刷株式会社 www.toppan.co.jp 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地